

教育委員会 5 月定例会 会議録

- 1 開催日時 令和4年 5月 9日 (月) 午後4時から午後4時35分
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席委員 教 育 長 丸 山 陽 一
同職務代理者 近 藤 守
委 員 倉 石 和 明
委 員 塚 田 まゆり
委 員 茅 野 理 恵
- 4 説明のために会議に出席した者
教 育 次 長 藤 澤 勝 彦
教 育 次 長 勝 野 学
参 事 兼 上 石 秀 明
学校教育課長
総 務 課 長 北 島 克 彦
保健給食課長 丸 山 英 樹
家庭・地域学びの課長 野 池 達 朗
文化財課長 前 島 卓
学校支援官 酒 井 好 和
主 幹 兼 石 坂 陽 子
総務課長補佐
- 5 書 記 総 務 課 児 島 真 季
庶務担当主査

丸山教育長が開会を宣した。

<教育長あいさつ>

3年ぶりの行動制限のないゴールデンウィークが終わったが、テレビで賑わう行楽地の様子などを見ると、全国的な人流の増加に伴う新型コロナウイルス感染症の再拡大が気になるところである。学校においては、引き続き感染対策を十分に行いつつ、様々な学校行事についてはぜひ行っていきたいと考えている。

先月中旬、新たに昇格された校長先生、長野市以外から転任された校長先生が着任された小・中学校19校を訪問した。着任からわずかの間であったが、子どもたちの様子や、教職員、保護者、地域の皆さんの状況をよく把握されており、懇談を通じて校長としての学校経営に対する意気込みを感じた。4月19日に行われた全国学力・学習状況調査では、県のまん延防止等の特別措置の実施に伴う分散登校等による影響が心配されるところではあるが、7月に速報値が出るとのことなので、その結果を分析して対応していきたい。

本日9日、こども総合支援センターが第二庁舎2階にグランドオープンした。以前から業務は開始しており、既に80件ほどの相談が寄せられているということである。長野市教育委員会としても、指導主事2名が相談員として兼務するというので、今後、センターとしっかりと連携・協力していきたい。また、児童生徒の悩みやSOSを早期に発見し対応することにより深刻化を防ぐことを目的に、一つのツールとして1人1台端末を活用した児童生徒の悩み相談「ひとりでなやまないで！」というものがスタートしている。詳細についてはこの後報告させていただきます。

<協議事項>

協議1号「令和3年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

北島総務課長が説明した。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

協議2号「長野市教育センター運営委員の委嘱について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

上石参事兼学校教育課長が説明した。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

協議3号「長野市教育委員会結核対策委員会委員の任命（委嘱）について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

丸山保健給食課長が説明した。

- ・学校検診の結果に基づき、精密検査が必要な児童生徒の選定を養護教諭、学校医、教育委員会の順で行っている。
- ・問診表により、高蔓延国での居住歴や家族に発症歴がある場合は、検査につなげている。

委員 結核の子どもたちは現在どのくらいいるのか。

丸山保健給食課長

令和3年度の実績はまだまとまっていないが、ほとんどいない。昨年度、高蔓延

国居住歴のある児童生徒が結核であるという事例は、1件もなかった。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

協議4号「長野市立公民館運営審議会の委嘱について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

野池家庭・地域学びの課長が説明した。

- ・ 8館の公民館の市立公民館運営審議会委員の任期満了に伴い、新たに委員を委嘱する。
- ・ 補欠委員については、欠員が生じたため、11名を委嘱するもの。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

協議5号「長野市子ども読書活動推進計画策定委員会委員の委嘱について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

野池家庭・地域学びの課長が説明した。

- ・ 現行の第三次長野市子ども読書活動推進計画について、本年度が最終年度となることから、新たに令和5年度から令和9年度の5か年を計画期間とする第四次子ども読書活動推進計画の策定に関する事項を調査・審議していただくもの。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

<一般行政報告>

報告1号「1人1台端末の活用による児童生徒の悩み相談 長野市教育委員会相談フォーム「ひとりでなやまないで！」について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

勝野教育次長が説明した。

- ・ 4月28日から全校にて運用を開始しており、既に数件の相談が寄せられている。

委員 先行実施の学校については、全校で時間を取って（説明を）行ったのか。

勝野教育次長

特別時間は取らずに、（通知で）紹介を行った。

委員 1人1台端末の持ち帰りについては学校判断か。

勝野教育次長

現時点では、試行段階ということで基本的に持ち帰りはない。

委員 そうなると、子どもたちはいつ入力するのか、という問題がある。

委員 現在、長野県は未成年者の自殺が全国で一番多くなっている。その中で、「いのちの電話」など様々なツールがあるが、どれだけ早く拾い上げるかが課題となっている。

勝野教育次長

端末を持ち帰るようになると、夜に相談する児童生徒がいることが予想される。しかし、夜の相談ではすぐに対応できないため、現在、トップ画面に緊急時の電話番号を記載するよう変更中である。

委員 悩みを持ち、相談したい子どもからの直接的なアプローチだけでなく、もう少し予防ができるようなアプリ等が開発されると良い。本当に深刻な場合は相談が来ない場合もあるので、そうしたところをどう予見していくか考えていく必要がある。

るのではないか。

勝野教育次長

今回は、静岡県掛川市のものを参考に作成した手づくりのシステム。どんなパターンが良いのか、そうしたご意見も参考にしながら考えていきたい。

委員 子どもが主役なので、大人の感性とは違う。子どもたちが考える、子どもたちが入力しやすい形を取っていけると良い。どこかの学校で時間をとり、子どもたちが自分たちで開発するという作業をすると、子どもたちの感性の中で引き出せるものがあるかもしれない。

丸山教育長

土台として作ったものなので、子どもたちの声を吸収しながら改善していく。

委員 いろいろな問題を吸い上げるのに一番効果的なものがアンケートと言われていいる。そうしたものは各学校定期的に行っていると思うので、プラスして今回のシステムを活用していけると良い。

委員 早く端末を持ち帰れるようになれば、差し迫った時にもSOSを出せるようになる。

丸山教育長

これは自前のものなので難しいかもしれないが、ゆくゆくは書かれた内容のキーワードをAIが判定し、重要度を判断できるというようになっていくのではないか。いじめの判定をAIが行っているところもある。

委員 掛川市は既に導入していてどんな感じなのか。

勝野教育次長

課題としては、全ての相談に返事をしているが、件数が多く対応が大変であるということ。成果としては、学校の先生方が気付かないところでの子どもの悩みが分かり、早期発見につながっているという。

委員 相談がたくさんくるということは、コロナ禍の中で、子どもたちも話したいことが多くあるということで、それが真の声かもしれない。

丸山教育長

長野市も、相談が多くきた時にきちんと対応できるよう、バックヤードをしっかりとっておかないといけない。

委員 SOSを出したのに見落とされる、返信がないということが一番危険な状況になってくるので、即時的には難しくても、翌日には対応するなど、このシステムを作ったことが裏目に出してしまうことがないよう、うまく運用することが必要である。

勝野教育次長

本日グラウンドオープンした、こども総合支援センターと連携しながらやっていきたい。

報告2号「史跡大室古墳群整備専門家会議委員等の選任について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

前島文化財課長が説明した。

- ・本来の定員は8名だが、体調不良による辞退があったため、今後別の方1名を選任し追加する予定。

<その他>

○教育委員会の主催、共催及び後援事業について（北島総務課長）

主催事業 1 件、共催事業 1 件、後援事業 18 件（賞状交付 1 件）

次回以降の日程確認（北島総務課長）

6 月定例会	6 月 1 日（水）午後 3 時から	教育委員会室 定例会前、管内視察を予定
7 月定例会	7 月 5 日（火）午後 1 時から	教育委員会室 定例会後、総合教育会議を予定

丸山教育長が閉会を宣した。

令和 年 月 日

会議録署名委員

教育長

同職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員